

世界初のCF方式光学系による顕微鏡性能の飛躍的向上

登録番号	第 00248 号		
登録年月日	2018（平成30）年 8 月 28 日	登録区分	第一種 (大量生産品等同様のものが複数あるも

名 称 (型式等)	CF方式光学系研究用生物顕微鏡 バイオフォト		
所 在 地	東京都港区		
	株式会社ニコン ニコンミュージアム		
所 有 者 (管理者)	株式会社ニコン		
製 作 者 (社)	日本光学工業株式会社（現 株式会社ニコン）		
製 作 年	1976年		
初 出 年	1976年		
選定理由	バイオフォトに採用されたCF方式(Chromatic aberration Free system)は、対物レンズの倍率色収差を対物レンズ自体で補正するもので、従来常識であった、対物レンズで補正するのが難しい倍率色収差を接眼レンズで補正するコンペンセーション方式にかわる、新しいレンズ設計思想である。このCF方式による対物レンズの製品化は世界初であり、「100年ぶりの技術革新」として、顕微鏡の性能が飛躍的に向上した。バイオフォトは、このCF方式光学系を採用した最初の研究用生物顕微鏡として重要である。		
登録基準	ーイー（科学技術の発展の重要な側面及び段階を示すもの） ーロー（国際的に見て日本の科学技術発展の独自性を示すもの）		

公開・非公開	公開		
写 真			
	 CFプランアクロマート対物レンズ  CFプランアポアクロマート対物レンズ		
その他参考となるべき事項			